

# 日本福祉教育・ボランティア学習学会 学会ニュース

Japan Academic Association of Socio-education and Service Learning

No.74

2021年2月26日

発行

発行人：原田正樹 編集委員：佐藤 陽 秋貞由美子 熊谷紀良  
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番27号 ロリ工市ヶ谷3階  
TEL.03-5227-7101 FAX.03-5227-7102 Eメール jimukyoku@jaass.jp



## 第26回学術大会のご報告

### ～コロナ禍における初めてのオンライン大会～

理事・副会長・大会副実行委員長 **野尻紀恵**（日本福祉大学）

緊急事態宣言が延長された地域、また緊急事態宣言は発出されていないけれど感染拡大が深刻な多数の地域において、深刻な生活問題や格差が浮き彫りになっています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、ふつうの暮らしが成り立たない経験、繋がりにたくても繋がってはいけないという辛い体験もしましたし、現在も続いています。「もしコロナがなかったら」・・・もはやこの言葉さえ遠い昔に発していた感じ。「コロナ続くよね、まだまだ」が最近の挨拶がわりになっています。

皆様、お元気ですか？

さて、第26回学術大会は、おおさか大会は中止とし、理事会が直接開催し、オンラインでプログラムを圧縮して開催しました。大会1日目（11月28日）は、学会の研究活動の中核である課題別研究3つを1本のzoomで実施しました。これまでの大会では同じ時間に課題別研究を同時開催していたので、1つの課題別研究にしか参加できませんでした。今回は全ての課題別研究に参加することが可能だったこともあり、アンケートでも充実した1日目であったというご回答をいただきました。また同日の総会も多数ご参加いただくことができました。大会2日目（11月29日）は、会員による自由研究発表を3本のzoomに分けて実施しました。zoomであるにもかかわらず28本の発表申請があり、多くの自由研究発表を聴くことができ学びを深め合いました。詳細な内容はこのページの後に続く、各分科会報告をお読みください。オンライン大会の良さや可能性にも触れることができましたし、マイナス面も確かに存在することも学びました。しかし、このような時こそ研究活動を停滞させない、実践研究を今こそ活動に活かしていく、そんな気迫が感じられる大会となりました。初めての環境で当日の司会等にご協力いただきました理事・特任理事の皆様、慣れないzoomを導入しつつ学術大会にご参加くださった会員の皆様、心より御礼申し上げます。

コロナ禍に引っ張られるような形で、一気にオンライン化が進みました。皆様もきっと会議や授業、実践の場においてもオンラインを駆使されつつあると思います。便利です。でも、時折「顔を合わせる」と、とても嬉しくて笑顔になれる自分もいます。一方、社会ではコロナ格差や差別・偏見が、やはり渦巻いています。ワクチンをめぐる各国の買い取り合戦、海外では裕福な方々向けのお城に宿泊してのワクチン接種ツアー（200万円だとか！）などが現れているそうです。

福祉教育・ボランティア学習のあり方が問われています。お一人おひとりの実践・研究の蓄積と創造を・・・会員の皆様と共に歩みを止めず、真摯に取り組んでいきたいと思っています。